

2023年10月10日

株式会社岩手銀行

洋野町 Jブルークレジット[®]紹介業務の取扱い開始について

株式会社岩手銀行（頭取 岩山徹）は、洋野町（町長 岡本正善）ならびに住友商事東北株式会社（取締役社長執行役員 遠藤圭弥）と2023年2月に締結した「岩手県洋野町における増殖溝を活用した藻場の創出・保全活動に係る包括連携協定」に基づき、洋野町が保有する Jブルークレジット[®]（※1）の販売を広げるため、住友商事東北株式会社と「洋野町 Jブルークレジット[®]の紹介業務」（以下、本業務という。）の取扱いを開始しました。

なお、ボランタリークレジット（※2）である本業務の取扱いは、金融機関では全国初となります。

当行では、お客さまの課題解決と地域社会の持続的成長を牽引する価値共創カンパニーとして、地域脱炭素社会の実現に向けた取組みを深化させ、取引先の成長と発展へとつなげていきます。

記

洋野町 Jブルークレジット[®]の紹介業務について

1. 締結の目的


当行、洋野町および住友商事東北株式会社が気候変動対策に取り組むとともに、地域事業者の企業価値向上や洋野町海域における持続可能な漁業の成長を後押しします。

2. 取組内容

洋野町 Jブルークレジット[®]の販売にかかるお客さまの紹介業務

3. 締結日

2023年10月2日（月）



IWATE BANK NEWS LETTER

- ※1 洋野町では1975年から町内の宿戸漁港付近を皮切りに、岩盤を掘削しウニの生育を促すための増殖溝の整備がはじまりました。この整備された増殖溝を活用した藻場の創出・保全活動が、2022年11月にジャパンプルーエコノミー技術研究組合より、Jブルークレジット®の認証を受け、2017年度から2021年度の5年の総削減量は3,106.5トンとなり、JBEが認証を開始した2020年度以降、国内最大規模の認証量となりました。
- ※2 各国・地域における規制や制度に必ずしも基づかない、企業の自主的な活用が前提で運営されている制度に基づくカーボン・クレジットをいいます。従来は金融機関における業務範囲規制に抵触するかが不透明であったところ、2022年12月26日に金融庁が、金融機関が民間主導のカーボン・クレジットを売買・媒介しやすくなるよう法令上の解釈を示す文書を発表したことから、新たに取扱いが可能となったものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

営業戦略部本業支援チーム 松井 佐藤

電話：019-623-1111（代表）